

## JAICAF 公開セミナー

## 東アフリカにおける農業機械化の現状と課題

今、東アフリカでは急激な人口増加とこれに由来する食料需要の量的な拡大と共に、コム・ムギ等への嗜好の変化が生じて生産が追いついていません。その理由はいくつかありますが、やはり多くの農家が天水と人力に頼った農業から脱却できないことが障害となっており、この状況を打開する一つの方法として農業の機械化が注目されています。

JAICAF（国際農林業協働協会）では、今年度、農林水産省からの助成を受けて、小規模農家のための農業機械化実証試験と機械化を取巻く周辺調査を実施しております。実証調査についてはウガンダ国の天水低湿地圃場で稲作の耕耘機導入試験を行い、また、欧州の NGO による耕耘機導入事例から耐久性や営農の変化を調査しました。周辺調査としてはウガンダ国とタンザニア国を対象に調査を行いました。事業ではとくに両国の機械化稲作の課題とチャレンジについて取り組んでいます。これらの活動の結果、機械導入による営農の改善やいくつかの技術的な課題等が浮かび上がってきました。

本セミナーは調査報告書の発刊に先立ち、東アフリカの農業機械化の実態を広く共有するとともに、現地の農業機械化に寄与しつつ、民間企業にとってどのような戦略が立てられるかを考える場として開催します。

## プログラム（予定）

14:30-14:40 開 会

主催者挨拶： 公益社団法人 国際農林業協働協会（JAICAF）

協力機関挨拶：一般社団法人 日本農業機械化協会

来賓挨拶： 農林水産省大臣官房国際部国際協力課

14:40-15:40 基調講演「サブサハラ・アフリカの農業機械化について」

JICA ウガンダ国コメ振興プロジェクト

時田 邦浩 チーフアドバイザー

15:40-16:10 農林水産省補助事業の紹介および現地調査報告

JAICAF 調査員 西野 俊一郎

16:10-16:30 現地調査報告「ウガンダの農業金融の現状と課題」

株式会社 農林中金総合研究所 長谷川 晃生 主事研究員

16:30-16:55 質疑応答・フロアとの意見交換

16:55-17:00 閉 会

- 日 時 2013年1月30日(木) 14時30分～17時(開場14時)
- 場 所 アクセス青山フォーラム(青山ツインビル西館15階、地下鉄青山一丁目駅直結)
- 主 催 公益社団法人 国際農林業協働協会
- 協力機関 一般社団法人 日本農業機械化協会
- 参加費 無料
- 申 込 1月27日(月)までに FAX あるいは電子メールで、①氏名、②ご所属先、③連絡先電話番号をお知らせ下さい。
- 申込先 公益社団法人 国際農林業協働協会(担当：西野／西山)  
FAX:03-5772-7680 / deskb@jaicaf.or.jp (TEL:03-5772-7880, http://www.jaicaf.or.jp)

\*\*\*\*\* (FAX 申込用) \*\*\*\*\*

**JAICAF 公開セミナー**  
**「東アフリカにおける農業機械化の現状と課題」**  
**参加申込書**

宛先：JAICAF (担当：西野／西山)

氏名	
ご所属先	
電話番号	
電子メール**	

\*\*今後、セミナー等のご案内お送りすることがあります。



会場：アクセス青山フォーラム(青山ツインビル西館15階)  
「青山一丁目駅」新青山ビル出口(3・4番)直結